

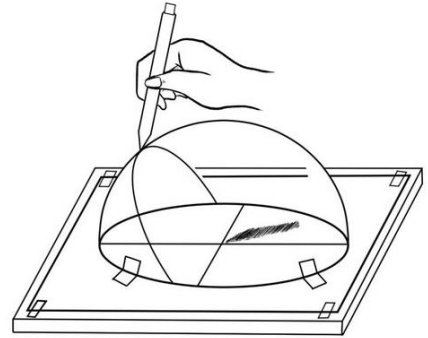


太陽の日周運動

◎透明半球を使った太陽の1日の動き

実験

- ① 右図のように、透明半球をセットする。
- ② 油性ペンの先端の が、円の にくるように ●印と時刻を記入する。
- ③ 1時間ごとに②をくり返す。



結果と考察

- 印は → 南 → へと進んだ。
- 印が最も高い所に来た方位は で、その時刻は ごろだった。
- 1時間ごとにつけた●印の間隔は であった。
- 太陽の動く速さは である。
- 印をなめらかな線で結んだとき、白い紙と交わった点をそれぞれA・Bとする。A点は の位置を表し、B点は の位置を表す。

太陽の1日の動きを、太陽の という。南の空で最も高くなることを太陽の とい、このときの高度を という。

観測者の位置を中心とした、見かけ上の大きな球面を といい、太陽はこの球面上を移動するように見える。透明半球はこのモデルであり、観測者の真上の点が である。

地球の : を軸に、地球が1日に1回転する運動のこと。
 北極と南極を結ぶ線 から へ

太陽が日周運動をしているように見えるのは、これが原因である。

◎地球上の方位

地球上の方位は、観測者が立つ場所を通る経度と緯度で決まる。

緯線に沿って太陽が昇る方位が 、沈む方位が である。
 経線に沿って南極の方位が 、北極の方位が である。

